小川喜道プロフィール

神奈川工科大学名誉教授
地域連携・貢献センター長
地域連携統括コーディネータ(特別専門職)
地域連携災害ケア研究センター副センター長
地域連携プラットフォーム事業幹事

<加入学会等>
日本社会福祉学会
障害学会
日本リハビリテーション連携科学学会
日本医療保健福祉連携教育学会
日本リハビリテーション工学協会
日本災害医学会
共用品推進機構
視覚障害リハビリテーション協会
　◇◇◇
日本リハビリテーション連携科学学会
　連携プロジェクト委員(2008-09)
　あり方検討委員会委員(2010)
　広報委員会副委員長(2011-2013)
　広報委員会委員(2014-2016)
　広報委員会副委員長(2017-2019)
　名誉会員(2020-)
障害学会紀要編集委員(2016-17)
日本社会福祉学会査読委員(2016-2023)
他学会査読委員

<社会活動>
現在関わっている活動
・日本障害者リハビリテーション協会国際委員(2016-2023)
・神奈川県手話言語普及推進協議会委員(2015-2025)
・社会福祉法人神奈川聴覚障害者総合福祉協会評議員(2012-)、他

以下、2021 年度まで関わっていた活動

・神奈川県障害者施策審議会会長(2020-2022.5)
・神奈川県障害者 IT 利活用推進委員会委員長(2013-2021)
・NPO 法人日本高次脳機能障害友の会顧問(2016-2019)
・厚木市第 10 次総合計画市民検討会議会長職務代理(2019-2020)
・厚木市環境衛生部ごみ対策ワークショップファシリテーター(2016-17)
・厚木市障害者計画策定市民検討委員会(2008-2014)
・あつぎ市民健康体操づくり委員会(2014-15)
・JICA(国際協力事業団)リハビリテーション専門家コース企画委員(2000-2014)
・高次脳機能障害支援システム検討委員会委員長(2012)
・厚木市地域包括支援センター運営協議会会長(2005-2011)
・高齢者・障害者配慮設計指針 JIS 原案作成委員会委員(2009)
・身体障害者のセクシャリティコンテスト自助具部門審査委員(2009)
・神奈川県社会福祉事業団研修センター研修事業検討会委員(2007-08)
・身体障害者の居住支援のあり方に係わる調査委員会委員長(2007)
・神奈川県高次脳機能障害支援システム検討委員会委員長(2007)
・厚木市障害福祉計画市民検討委員会委員長(2006)
・神奈川県高次脳機能障害者地域支援推進検討会議委員長(2005)
・神奈川県高次脳機能障害者支援対策整備推進委員会副委員長（2004-05）
・神奈川県総合リハビリテーションセンター職員育成ワーキンググループ委員（2005）
・神奈川障害者基本計画策定委員会委員（2003）
・神奈川県障害者ケアマネジメント体制推進会議委員（2003）
・神奈川県障害者ケアマネジメント体制整備推進会議相談窓口促進部会長（2003）
・神奈川県高次脳機能障害支援モデル事業連絡調整委員会委員（2001-03）
・神奈川県社協・ともしびセンター企画専門委員会委員長（2002-03）
・国障害者ケアマネジメント従事者養成指導者研修検討会委員(2001)
・神奈川県障害者ケアマネジメント検討委員会委員(2000-02)
・神奈川県障害者ケアマネジメント検討委員会身体障害者部会長(2000-02)
・第 17 回（2002 年）リハ工学カンファレンス実行委員会委員(2002)
・厚木市障害者福祉計画市民検討委員会委員長(2002)
・厚木市社協・地域福祉活動計画策定委員(2002)
・神奈川県社協・地域の自助具利用に関する検討会委員(2001)

◇◇◇

・「季刊職リハネットワーク」（日本障害者雇用促進協会）編集委員（1994-95）
・「リハビリテーションエンジニアリング」(日本リハビリテーション工学協会) 編集委員 (1993-95)
・「日本リハビリテーション連携科学学会」会報編集委員（2002-2005）

・「リハビリテーション研究」(日本障害者リハビリテーション協会)編集委員(2015-2019)

<委託研究>(主任研究者・共同研究者・協力研究者含む)

1987 年　厚生省社会局委託研究
「身体障害者厚生施設の設備・運営基準のあり方」
1988 年　厚生省社会局委託研究
「身体障害者厚生施設の今後のあり方」
1990 年　厚生省社会局委託研究
「福祉関係情報の収集利用のためのシステムづくりに関する研究」
1991 年　厚生省社会局委託研究
「福祉関係情報の収集利用のためのシステムづくりに関する研究」
1991 年 長寿社会福祉基金事業
「重度障害者の自立生活援助に関する研究」
1992 年 長寿社会福祉基金事業
「重度障害者の自立生活支援システムに関する研究」
1994 年 長寿社会福祉基金事業
「ニューメディアを活用した重度障害者に対する自立生活支援事業」
1998 年 厚生省社会局委託研究
「専門職及び関連職種の養成研修のあり方に関する研究」
1999 年 社会福祉・医療事業団
「障害者の地域総合拠点に関する研究事業」
2003 年　大和日英基金
「英国のコミュニティケア及び地域リハビリテーションに関する調査研究」
2003 年～2005 年　私学振興事業団高度教育研究改革推進経費
「地域・大学間連携型福祉工学教育手法の開発」
2003 年　厚生労働科学研究費補助金（特別研究事業）主任研究者
「障害児（者）の地域生活支援のあり方に関する研究」
2006 年　大和日英基金
「英国の脳損傷職業リハビリテーションに関するセミナー」
2007 年　障害者保健福祉推進事業補助金
「身体障害者の居住支援のあり方に係わる調査」
2007 年　学内教育研究重点配分
「社会人力向上のための地域連携教育システムの確立と実践」
2009 年　福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業
「効果的な個別支援計画作成の普及事業」委員
2009 年　日本損害保険協会自賠責運用益拠出事業

「高次脳機能障害生活適応援助研究」委員
2010 年　福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業
「個別支援計画の人材育成についての調査研究」委員
2010 年　高齢・障害者雇用支援機構
「欧米の障害者雇用法制及び施行に関する調査研究」委員
2010 年　障害者総合福祉推進事業補助金
「支給決定プロセス等に係る海外の実態に関する調査」委員
2010 年-12 年　科学研究費補助金
「障害者運動とソーシャルワークの協働と葛藤－国際比較による実証的研究」研究分担者
2014 年　大和日英基金
「日英・脳損傷の生活の質向上とアート活動に関する全国セミナー」
2016 年　日本損害保険協会　自賠責運用益拠出事業助成金
「高次脳機能障害者支援における多職種連携に関する研究」
2016-8 年　科学研究費補助金
「回復期脳卒中患者の就労支援ケア・パッケージの構築」
2017 年　日本損害保険協会　自賠責運用益拠出事業助成金
「高次脳機能障害者支援における多職種連携に関する研究(継続)」
2018 年　日本損害保険協会　自賠責運用益拠出事業助成金
「高次脳機能障害者支援における多職種連携に関する研究(継続)」
2019 年　交通エコロジー・モビリティ財団　研究・活動助成金
「ICT を活用した地域防災システムの在り方に関する基礎的研究」
2019 年　科学研究費補助金(継続)
「回復期脳卒中患者の就労支援ケア・パッケージの構築」研究分担者
2021 年　日本損害保険協会　自賠責運用益拠出事業助成金(2021-2023)研究代表者
「地域通所施設をめぐる高次脳機能障害者への支援プログラムに関する研究」

<単著>
『障害者の自立支援とパーソナル・アシスタンス、ダイレクト・ペイメント-英国障害者福祉の変革』(明石書店), 2005
『障害者のエンパワーメント－イギリスの障害者福祉』(明石書店) ,1998
『障害者のエンパワーメント－イギリスの障害者福祉』(韓国語翻訳書) ,2003
<翻訳監修>
『障害学入門－医療・福祉分野にかかわる人のために』デビッド・ジョンストン著　小川・於保・曽根原・高橋・麦倉訳 (明
石書店), 2008

<編著>

『よくわかる障害学』小川喜道・杉野昭博編著(ミネルヴァ書房)、2014

<共著>

『本人中心の支援計画』谷口明広・小川喜道・小田島明・武田康晴・若山浩彦(中央法規)、2015

<分担執筆>

1）介護福祉士実践シリーズ９巻『障害者介護の基礎技術』（メジカルフレンド社）, 1989

2)『重度身体障害者の自立生活援助に関する調査研究』（日本障害者リハビリテーション協会）,1992

3)『ボランティア・家族のための障害をもつ人の生活ハンドブック』（日本障害者リハビリテーション協会）, 1993

4)『頚髄損傷者のピア・サポート－地域生活の実現に向けた支援マニュアル－』（日本障害者リハビリテーション協
会）,1993

5)『わかりやすいリハビリテーション－社会的リハビリテーションを中心に－』（日本障害者リハビリテーション協会）, 1994

6)『ニューメディアを活用した重度障害者に対する自立支援に向けて－パソコン通信を活用したサポート体制の一方策
－』（日本障害者リハビリテーション協会）, 1995

7)『福祉ボランティア』（朱鷺書房）, 1995

8)『脊髄損傷マニュアル－リハビリテーション・マネージメント第２版』（医学書院）, 1996

9)『リハビリテーション論』新版・社会福祉学習双書 2001・第 16 巻（全国社会福祉協議会), 2001,02,03,04,05,06,07

10)『Q&A 脳外傷－本人と家族のためのガイドブック』（明石書店), 2001

11)『脳外傷リハビリテーション・マニュアル』（医学書院), 2001

12)『リハビリテーション工学と福祉機器』（金原出版）, 2006

13)『Q&A 脳外傷－高次脳機能障害を生きる本人、家族のために』（明石書店), 2007

14)『「臨床に必要な障害者福祉』（弘文堂), 2007, 2010

15)『「障害者福祉』（みらい), 2007

16)『人間工学とユニバーサルデザイン』（日本工業出版), 2008

17)『世界の社会福祉年鑑 2009』（旬報社),2009

18)『Q&A 脳外傷第三版－高次脳機能障害を生きる本人、家族のために』（明石書店), 2010

17)『世界の社会福祉年鑑 2010』（旬報社),2010

18)『世界の社会福祉年鑑 2011』（旬報社),2011

19)『発達障害白書 2013』（明石書店）,2012

20)『世界の社会福祉年鑑 2011』（旬報社),2012

21)『「臨床に必要な障害者福祉』(弘文堂), 2013
22)『パーソナルアシスタンス－障害者権利条約時代の新・支援システムへ』(生活書院), 2017
「日本においてパーソナルアシスタンスへの道は切り拓けるか－意思決定に基づく暮らしとその支援に関する日英
の制度比較からの検討」
23)『高次脳機能障害のリハビリテーション』(医歯薬出版), 2018, 2020, 2022
「高次脳機能障害に対する支援の海外での取り組み」

<海外活動、等>

1990 年 9 月　アメリカにて自立生活センター及びリハビリテーション機関調査
1991 年 12 月　アジア太平洋地域リハビリテーション・アクション・ネットワーク
会議（フィリピン、ケソン市にて開催）出席
1992 年 8 月　マレーシア福祉事情視察、福祉省意見交換
1993 年 8 月　マレーシア、マラヤ大学病院にて脊損セミナー企画実施
1994 年 1 月　アジア障害者自立生活セミナー（フィリピン、バコロド市）出席
1995 年 7 月　ロンドン大学児童保健研究所留学中に、イギリス地域福祉及び障害者福祉
について調査・研究（～1996 年 6 月まで）
1996 年 12 月　ロンドン・タワーハムレット区調査
1999 年 12 月　アジア太平洋障害者の十年キャンペーン会議（クアラルンプール）出席
2000 年 8 月 英国にてコミュニティケア関連情報調査
2000 年 12 月　アジア太平洋障害者の十年キャンペーン会議（バンコク）出席/バンコクのアクセス
2001 年 9 月 英国にて地域リハ及び福祉用具供給関連調査
2001 年 12 月　アジア太平洋障害者の十年キャンペーン会議(ハノイ)出席
2002 年 9 月 英国にてダイレクト・ペイメント関連調査
2002 年 10 月（札幌)障害者インターナショナル世界会議
(大阪)アジア太平洋地域リハビリテーションインターナショナル出席、発表
2002 年 9 月 英国にて障害者自立生活に関する調査
2003 年 9 月 東ロンドン地区を中心に障害者の地域ケアに関する調査（大和日英基金奨励助成）
2005 年 8 月 英国にて脳損傷者地域ケアに関する調査
2006 年 3 月 英国にて多職種間連携教育・医療福祉機関教育等に関する調査
2007 年 9 月 ポーランドにて多職種間連携教育に関する国際会議出席、発表
2008 年 5 月 オーストラリア・クィーンズランド州脳損傷・高次脳機能障害者ケアシステム調査
2008 年 9 月 英国にて障害者個人予算化に関する調査
2009 年 9 月 英国にて知的障害者生活支援と当事者活動調査

2010 年 9 月 英国にて地域リハビリテーションと障害当事者活動調査
2011 年 9 月 英国にて障害者と就労に関する調査
2012 年 3 月　国際脳損傷会議出席、発表(スコットランド・エジンバラ)
2012 年 11 月　リハビリテーション・インターナショナル世界会議出席、発表（韓国・インチョン）
2013 年 9 月 英国にてタワーハムレット区継続調査及び脳損傷関連打ち合わせ
2015 年 9 月 (東京)アジア太平洋 CBR(Community-Based Rehabilitation)会議
2016 年 9 月 英国 ATBH 国際会議出席、発表、King' Fund にて保健福祉情報収集

<関連団体会報への執筆>

1)非差別・人権擁護・自己決定－米国福祉事情－
「みらい」神奈川身体障害施設協会、No.1, 1991
2)アジア太平洋地域リハビリテーション・アクション・ネットワーク会議に参加して
「みらい」神奈川身体障害施設協会、No.2, 1992
3)更生施設におけるピア・サポートへの接近
「かざぐるま」小児療育相談センター、No.98, 1993.12.
4)英国における障害者のパワーと実践
「ノーマライゼーション」日本障害者リハビリテーション協会、第 16 巻第 10 号, 1996
5)子育てを支える家族短期施設利用
「全事協だより」全国社会福祉事業団協会、第 42 号, 1998
6)障害者ケアマネジャー？
「トリム」FLC（障害者が地域で主体的に生きる会）No.64、1999
7)Disabling professions から Empowering professions へ
「連携科学」日本リハ連携科学学会会報、3 号、2000
8）久しぶりにマレーシアの障害者を訪ねて
「トリム」FLC（障害者が地域で主体的に生きる会）No.67、2000
9)イギリスの身障住宅
「トリム」FLC（障害者が地域で主体的に生きる会）No.71、2000
10)心のバリアーフリー　－英国の障害者に出会って－
「リハビリテーション」鉄道身障者協会、429 号、2000
11)書評・自立生活運動と障害文化
「月刊福祉」全国社会福祉協議会、9 月号、2001
12)英国と日本、あれこれ・・・
「Fruit Punch News Letter」Fruit Punch(英国にて障害児をもつ日本人親の会)、No.36、2001
13)高次脳機能障害モデル事業の周辺
「高次脳機能障害支援モデル事業かわら版」神奈川リハ病院支援モデル事業検討会議、11 号、

2002
14)支援費制度って何？
「トリム」FLC（障害者が地域で主体的に生きる会）No.79、2002
15)澤村先生の「地域リハにおける連携の重要性」を聞いて
「連携科学」日本リハ連携科学学会会報、9 号、2002
16)高次脳機能障害支援モデル事業～神奈川県の事例を通して
「連携科学」日本リハ連携科学学会会報、10 号、2002
17)座談会「地域リハとしての機能訓練事業の方向性を考える」
「地域保健」地域保健研究会、 9 月号、2002
18)福祉サービスを自ら「買う」制度
「トリム」FLC（障害者が地域で主体的に生きる会）No.83、2002
19)「障害者ケアマネジメント」って何ですか？
「トリム」FLC（障害者が地域で主体的に生きる会）No.85、2003
20)支援費制度を支える相談事業のゆくえ
「IL タイムズ」あつぎ障害者自立生活センター、No.7、2003
21)横断歩道のちょっとした話
「トリム」FLC（障害者が地域で主体的に生きる会）No.91、2004
21)座談会「支援費制度始まる」- 支援費制度一年、制度が目指したものとその評価 -（前）
「戸山サンライズ」全国身体障害者総合福祉センター、No.208、2004
22)座談会「支援費制度始まる」- 支援費制度一年、制度が目指したものとその評価 -（後）
「戸山サンライズ」全国身体障害者総合福祉センター、No.209、2004
23)書評・柳田邦男「「人生の答」の出し方」新潮社
「トリム」FLC（障害者が地域で主体的に生きる会）No.93、2004
24)イースト・ロンドンの脳損傷デイセンター所長を招いて
「Fruit Punch News Letter」Fruit Punch(英国にて障害児をもつ日本人親の会)、No.45、2004
25)障害者（児）の生活支援を巡るネットワーク論
「連携科学」日本リハ連携科学学会会報、17 号、2004
26)障害者(児)の地域生活支援に関する調査を通して見えてきたもの
シンポジウム「障害者の地域生活支援のあり方-生活支援の現状と課題-」
身体障害者リハビリテーション研究集会 2004 講演・シンポジウム報告集、2004
27）イギリスのヘッドウェイ脳損傷者協会とその活動
「職業リハビリテーション」日本職業リハビリテーション学会、Vol.18, No.1、2005
28)障害者自立支援法案の問題点
「フレンドシップナナ」脳外傷友の会ナナ、Vol.31、2005
29)神奈川県高次脳機能障害者地域支援推進検討会議スタート
「フレンドシップナナ」脳外傷友の会ナナ、Vol.31、2005

30)Practical education of information technology based on the collaboration within a community
CAIPE, 2006
31)イギリスのちょっとした話題
「トリム」FLC（障害者が地域で主体的に生きる会）No.110、2007
32)英国のダイレクト・ペイメント制度
「障害者・高齢者の自立生活支援制度・社会保障政策研究事業報告書、DPI 日本会議、2007
33)脳外傷友の会ナナ設立の 1997 年・ ドキュメンタリー
「脳外傷友の会ナナ 10 周年記念誌」、脳外傷友の会ナナ、2007
34)イギリスの風・パワフルな知的障害者の活動
「エルゴ　障害をのりこえて」創刊号、2009
35)基調報告
「脳損傷・高次脳機能障害オーストラリア研修報告書」、クインズランド脳損傷・高次脳機能障害研修実行委員会、
2009
36)身体障害者グループホームのゆくえ
「トリム」FLC（障害者が地域で主体的に生きる会）No.123、2009
37)身体障害者グループホームのゆくえ
「クレリィエール」秦野・精神保健ミニコミ誌(「トリム」No.123 転載)
38)障害者の制度改革とパーソナル・アシスタント
「トリム」FLC（障害者が地域で主体的に生きる会）No.130、2010
39)福祉用具・福祉機器の供給をめぐる連携課題
「連携通信」日本リハ連携科学学会会報、35 号、2011
40)暁子さん・樋口家・神奈川工科大学の学生たち
「トリム」FLC（障害者が地域で主体的に生きる会）No.133、2011
41)高次脳機能障害者が住み慣れた地域で暮らすために」報告
「フレンドシップナナ」、脳外傷友の会ナナ、2012
42)クィーンズランド脳損傷協会「シナプス」に同行して
「フレンドシップナナ」、脳外傷友の会ナナ、2012
43)第 9 回脳損傷世界会議に出席して
「ＪＴＢＩＡ Letter」日本脳外傷友の会、Ｖｏｌ．7、2012
44)クィーンズランド脳損傷協会シナプス・セミナーの報告
「ＪＴＢＩＡ Letter」日本脳外傷友の会、Ｖｏｌ．8、2013
45)クィーンズランド脳損傷協会シナプス再来日、各地での交流再び
46)神奈川脳外傷リハビリテーション講習会「住み慣れた地域に暮らす」報告
「フレンドシップナナ」、脳外傷友の会ナナ、2014
47)JANNET 研究会マヤ・トーマスさん講演会-CBID の実践、インパクトの指標への考察-

「リハビリテーション研究」No.162、2015
48)高次脳機能障害のある人を、支援の対象者から主体者へ
　「フレンドシップナナ」、脳外傷友の会ナナ、2017
49)脳外傷友の会ナナ、改革のステージへ
「フレンドシップナナ」、脳外傷友の会ナナ、2018
50)イギリスにおける近年の福祉制度改革
「新ノーマライゼーション」、日本障害者リハビリテーション協会、2020

<口頭発表(筆頭:小川)>

・視覚障害者の外出をめぐる当事者と晴眼者の認識に関する調査
　障害学会第 16 回大会、2019
・視覚障害者の日常生活用具に関する実態及びその課題
　日本社会福祉学会第 65 回大会、2018
・神奈川県手話推進計画の策定プロセスにみる課題
　第 14 回障害学会、2017
・Support Policy for People with Brian Injuries in Japan and its Practice and Development
All Together Better Health Conference VIII (Oxford, England), 2017
・英国における脳損傷者の生活の質向上に向けたプログラムの展開
　日本社会福祉学会 63 回大会、2015
・視覚障害者の生活実態からみる社会的支援の課題
　日本社会福祉学会第 62 回大会、2014
・イギリスにおける福祉サービスの合理化をめぐる施策動向
　第 11 回障害学会、2014
・オーストラリア・クィーンズランド州における脳損傷支援の動向
　日本社会福祉学会第 61 回大会、2013
・イギリスの障害者福祉に関わる Self-directed Support の動向
　第 10 回障害学会、2013
・ Education for the Cultivation of Professionals providing Engineering Support in Cooperation with the Disabled
People
The 22th Rehabilitation International World Congress, 2012
・イギリスの障害者就労に関する動向 － 連立政権発足以降の変化について －
　日本社会福祉学会第 60 回大会、2012
・Evaluation of Network Construction at a Community General Support Center
The 6th International Conference for Interprofessional Education and Collaborative Practice, 2012

・Actual Status of the People with brain Injury in Japan and Tasks to be solved
The Ninth World Congress on Brain Injury, 2012
・高次脳機能障害者の地域生活をめぐる support 課題
日本社会福祉学会第 58 回、2010
・障害者福祉における個別支援計画の日英比較
第 7 回障害学会、2010
・英国における多職種協働(IPW)の連携形態
第 2 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会、2009
・我が国におけるダイレクト・ペイメント論議の課題整理-英国での Frances Hasler らの諸活動を通して-
障害学会第 6 回大会、2009
・地域包括支援センターにおけるネットワーク構築の課題
第 23 回日本地域福祉学会、2009
・擬似体験と障害者の語りを併用の教育プログラム－障害平等研修に学ぶ教育手法の検討－
障害学会第 5 回大会、2008
・イギリスにおける障害者・高齢者に対するケア改革
日本社会福祉学会第 56 回全国大会、2008
・地域・大学間連携教育を通した人材育成の検討
日本リハビリテーション連携科学学会第 9 回、2008
・イギリスにおける障害者の社会サービス個人予算化の動向
日本社会福祉学会第 55 回全国大会、2007
・Practical Education of Information Technology based on the Collaboration within a Community
International Conference of European Interprofessional Education Network, 2007
・障害あるユーザー参画による地域・大学間連携教育の実践（第二報）
第 21 回日本地域福祉学会、2007
・イギリスにおけるダイレクト・ペイメント制度施行後の推移
日本社会福祉学会第 54 回全国大会、2006
・障害あるユーザー参画による地域・大学間連携教育の実践－地域 IT 実践教育プログラムの試行とその結果－
第 20 回日本地域福祉学会、2006
・視覚障害者に対する障害程度区分認定調査のあり方に関する研究
日本リハビリテーション連携科学学会第 7 回大会、2006
・イギリスにおけるパーソナル・アシスタンスの展開
日本社会福祉学会第 53 回全国大会、2005
・イギリスにおけるダイレクト・ペイメントの今日的評価
第 19 回日本地域福祉学会、2005

・リハビリテーション分野における連携検討の枠組み
日本リハビリテーション連携科学学会第６回大会、2005
・タクタイル文字による室名表示の読みやすさに関する評価
第３０回感覚代行シンポジウム、2004
・セルフヘルプ・グループとリハ専門職の関係性に関する研究
日本社会福祉学会第 52 回全国大会、2004
・障害児（者）の生活とその意識からみた支援費制度の課題
第１８回日本地域福祉学会、2004
・タクタイル文字における至適サイズの評価（第ニ報）
第２９回感覚代行シンポジウム、2003
・支援費制度の代理受領にみる課題－英国ダイレクト・ペイメント制度を検討支点に据え－
日本社会福祉学会第 51 回全国大会、2003
・英国コミュニティケアにおけるダイレクト・ペイメント
第１７回日本地域福祉学会、2003
・タクタイル文字における至適サイズの評価（第一報）
第２８回感覚代行シンポジウム、2002
・ Experience of Establishing Partnership between Self-Help Group and Rehabilitation Professional
The 12th Rehabilitation International Asia and the Pacific Regional conference, 2002
・障害者ケアマネジメントのプロセスにみる日英の比較
第１６回日本地域福祉学会、2002
・ユーザー中心の考え方に基づく福祉工学教育の試み
日本リハビリテーション連携科学学会第２回大会、2002
・障害者ケアマネジメントにおける利用情報のあり方
日本社会福祉学会第 49 回全国大会、2001
・リハビリテーション分野における連携検討の枠組み
日本リハビリテーション連携科学学会第２回大会、2001
・地域リハ・コーディネーター養成研修の現状と課題
日本リハビリテーション連携科学学会第１回大会、2000
・英国コミュニティケアにみるエンパワーメントの論点
第１３回日本地域福祉学会、1999
・セルフヘルプ・グループと専門家の関係性についての一考察
第１２回日本地域福祉学会、1998
・リハビリテーションの潮流－ＣＢＲについて－
第８回視覚障害リハビリテーション研究会、1996
・頸髄損傷者の自動車運転に関する実態調査

第３２回社会福祉研究発表大会、1994
・リハビリテーションセンターの役割
第１６回センター研究発表会、1993
・重度身体障害者の自立生活援助に関する調査研究
第７回日本地域福祉学会、1993
・マレーシアとの交流
アジア福祉シンポジウム（主催神奈川県社会福祉協議会)、1992
・更生施設業務における地域リハビリテーションとの関わり
身体障害者リハビリテーション研究大会、1992
・更生施設の現状 －脳性麻痺者について－
第１３回センター研究発表会、1990
・身体障害者更生施設における援助者活用プログラムの展開
総合リハビリテーション研究大会、1989
・頭部外傷者に対する生活指導の検討－重度記銘力障害を有するケースの事例を通して－
第２７回社会福祉研究発表大会（主催神奈川県)、1989
・A Facility Providing Training for Independent Living
The 16th Rehabilitation International Congress, 1988
・高次脳機能障害者の運転適性について
第３回リハビリテーション工学カンファランス、1988
・社会生活自立実習事業の試行結果について
総合リハビリテーション研究大会、1987
・脳血管障害者の自動車運転について－その問題点と課題－
第２５回社会福祉研究発表大会（主催神奈川県)、1987
・脳血管障害者にとってのＱＯＬ－グループワークによる社会参加への意識づけ－
第２５回社会福祉研究発表大会（主催神奈川県)、1987
・更生ホームにおける原疾患別自立生活プログラムの試み
神奈川県総合リハビリテーションセンター研究発表会、1986
・オプタコン訓練について
身体障害者福祉研究会（主催厚生省)、1978
・オプタコン（視覚障害者用光学式読書器）の実用性に関する研究
神奈川県総合リハビリテーションセンター研究発表会、1977
・糖尿病による末梢神経障害と点字触読の関係
身体障害者福祉研究会（主催厚生省)、1977
・スモン病による重複障害ケースの社会的リハビリテーション
身体障害者福祉研究会（主催厚生省)、1977

<誌上発表/共同研究・研究協力>

・高齢者向け下肢筋力低下予防を目的とした遊具の開発
「体育研究」51 号、2018
・ The basic study on the effects of the use of BGM in auditory user iterface on user's memory and learning of
directory hierarchy、2016
Journal of Ergonomic Technology, Vol16, No.1
・バドミントンラケットグリップの握り易い形状の効果
「体育研究」49 号、2016
・介助用車いすのハンドルグリップの位置と操作し易さとの関係
「リハビリテーション・エンジニアリング」日本リハビリテーション工学協会、2014
・Web カメラを活用した拡大読書器の試作とその評価
「第 25 回リハ工学カンファランス in 仙台、2010
・Web による地域実習支援システムの提案
信学技報、電子情報通信学会、2007
・地域情報マップ作成プロジェクトにおける e-learing の活用
信学技報、電子情報通信学会、2007
・視聴覚二重障害者の地域生活支援に関する事例検討
「第 13 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会論文集」2004
・頚髄損傷者の自立生活の自立生活に向けて
F.L.C.（障害者が地域で主体的に生きる会）,2002
・在宅障害児の療育指導
「小児科診療」診断と治療社、第 61 号第 5 号, 1998
・イギリスの頭部外傷者支援組織"HEADWAY"発行のブックレットの紹介
「センター研究紀要」神奈川県総合リハビリテーションセンター、N.24, 1997
・働く脊髄損傷者の生活実態に関する調査報告（第 2 報）
「センター研究紀要」神奈川県総合リハビリテーションセンター、No.23, 1996
・就労している車椅子利用者の地域での生活に関する調査報告
「センター研究紀要」神奈川県総合リハビリテーションセンター、No.22, 1995
・社会的リハビリテーションの問題点－身障更生施設の利用状況を通して－
「総合リハビリテーション」医学書院、第 22 巻第 6 号, 1994
・七沢更生ホームにおける退所者実態調査－脳血管障害者の場合－
「センター研究紀要」神奈川県総合リハビリテーションセンター、No.20, 1993？
・脊髄・脳外傷発生状況－神奈川県内労災指定医療機関へのアンケート調査結果－
「センター研究紀要」神奈川県総合リハビリテーションセンター、No.20, 1993

・頭部外傷者の生活指導評価の検討
「センター研究紀要」神奈川県総合リハビリテーションセンター、No.19, 1993
・更生施設の現状－脳性麻痺者について－
「総合リハビリテーション」医学書院、第 17 巻第 9 号, 1989

<口頭発表/研究(共同研究・研究協力)>
・脳卒中患者が入院患者及び先輩患者との交流会に回復期リハビリテーション病棟入院中に参加する意義
　日本リハビリテーション連携科学学会、2022
・再就労した脳卒中患者の就労状況と就労支援の実態
　日本リハビリテーション連携科学学会、2021
・ヒアリングループの応用-補聴支援からエンターテイメントまで音響学会、2021
・地域連携による防災無線放送の音響的分析
音響学会、2021
・無形文化財保護のための騒音対策手法に関する研究
音響学会、2021
・地域住民のニーズに応える大学避難所の設営
　日本災害医学会、2020
・排泄支援車いすの座り心地の感性評価
　日本機械学会、2019
・就労移行支援事業所の脳卒中患者への就労・職場定着支援の実態と今後の課題
　日本リハビリテーション連携科学学会第 20 回記念大会、2019
・大学生に対するキャンパス内の AED の設置場所や使用に関する認知度調査
　第 33 回リハビリテーション工学カンファランス、2018
・脳卒中患者雇用促進のための民間企業との連携のあり方
　日本リハビリテーション連携科学学会、2018
・高次脳機能障害支援に関する多職種連携のあり方に関する考察
　第 41 回高次脳機能障害学会学術総会、2017
・障害者就業・生活支援センターにおける脳卒中患者の就労支援等の状況と就労支援の課題
　日本リハビリテーション連携科学学会、2017
・補装具ユーザーを中心としたスポーツチームの実践
　第 36 回医療体育研究会、2016
・要支援高齢者への運動介入の効果に関する研究
　第 19 回神奈川体育学会、2016
・本学ラグビー部におけるスポーツ傷害の特性に関する疫学的調査
　第 35 回医療体育研究会、2015

・補装具ユーザーを中心としたスポーツチームの実践
　医療体育学会、2015
・A Interprofessional Work to Life Support Aiming Independent Transportation for People with Acquired Brain Injury
The 6th International Conference for Interprofessional Education and Collaborative Practice, 2012
・学会の「連携」をめぐる考察と提案-連携プロジェクト委員会からの報告-
　日本リハビリテーション連携科学学会、2010
・現代 GP 実施報告: 地域と連携する IT の実践教育の展開
IT を活用した教育シンポジウム、2007
・触覚文字フォアフィンガーによる触察サイン設置位置の検討
The 2nd International Conference for Universal Design in Kyoto、2006
・地域情報マップ作成プロジェクトにおける e-Learning の活用
　第 32 回福祉情報工学研究会、2006
・アイマスク体験による視覚障害者観の変化
　第 14 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会、2005
・読み間違いを少なくする欧文のデザインの試作
　第 46 回日本人間工学会:研究大会、2005
・ICF を活用した情報システムツールの構築とその考察
　日本リハビリテーション連携科学学会第 6 回大会、2005
・ろう弱視者の生活を支えている支援・サービスの分析
全国盲ろう教育研究会第 2 回大会、2004
・視聴覚二重障害者の地域生活支援に関する事例検討－タイムスタディを通してみた制度的課題の整理－
　視覚障害リハビリテーション研究大会、2004
・Tactile Font in Japanese Characters for Visually Impaired People and Sighted People
International Conference for Universal Design in Japan, 2002
・家庭訪問による自助具製作提案
　日本リハビリテーション工学カンファレンス、2002
・身障更生施設におけるケアマネジメントの実践
　社会福祉研究発表大会、2001
・障害幼児の母親への支援－母子短期入所の一事例を通して－
　日本発達障害学会第 33 回大会、1998
・在宅障害児における療育上の問題への支援:母子短期入所を通して
　日本発達障害学会第 33 回大会、1998
・働く脊髄損傷者の生活実態に関する調査報告

センター研究発表会、1996
・就労している車椅子利用者の地域での生活に関する調査からみた一考察
日本地域福祉学会、1995
・リハビリテーション医療の経済効果に関する研究－神奈川リハビリテーション病院における脊髄損傷を中心に－
神奈川リハビリテーション研究会、1994
・高位頸髄損傷者の自動車運転に関する調査
社会福祉研究発表大会、1994
・身体障害者更生施設における頭部外傷者の生活指導評価の検討
社会福祉研究発表大会、1992
・早期リハビリテーション医療の社会・経済的効果に関する研究
日本社会福祉大学社会福祉学会、1991